

令和2年度テクノアカデミー会津産業人材育成推進協議会議事録

1 開催日時

令和3年2月19日（金）～3月1日（月）まで書面による意見徴取

2 出席者

産業界：4事業所、教育機関：2校、商工団体：2団体、行政機関：5機関

3 次第

テクノアカデミー会津地域貢献プランの実施結果及び進捗状況について

- (1) テクノアカデミー会津地域貢献プランについて
- (2) 令和2年度の基本的施策実施状況について
- (3) 重点事業の取組みについて
- (4) 学生募集について

4 議事

テクノアカデミー会津地域貢献プランの実施結果及び進捗状況について

(1) テクノアカデミー会津地域貢献プランについて

No	意見等	回答
1	福島県で生まれ育った若い人財の県外流出を少なくするためには、福島県、会津地域の企業、団体が必要としている人材の確保と育成が必要であります。そのようなカリキュラムを組む事が重要だと思います。	本協議会及び訓練科別懇談会を通していただいた意見を参考に、本県、会津地方の企業ニーズに応えられる人材を育成するため、カリキュラムの見直しを不断に行い、また、必要な機器については予算要求を行ってまいります。
2	教育訓練により習得した技能技術をもって、会津地域の福祉施設等へ出向き関連する設備・車両などの施工・修繕等を行うことにより、地域貢献に寄与でき、併せてマスコミを通すことにより「テクノアカデミー」の知名度も上がるものと考えられる。	地域や企業、学校と連携する取り組みを増やし、地域振興に寄与するとともに本校の知名度の向上も目指してまいります。
3	県の策定した計画が、地域貢献プランによく反映されている。	県で策定する第11次福島県職業能力開発計画等上位計画を踏まえながら本校の次期地域貢献プランを策定いたします。
4	少子化の中、入学充足率が低い傾向にあるのはやむを得ないと考えます。一方、在職者訓練の受講者数が目標値の3倍に伸びたのは努力された跡がうかがえます。	目標を達成できたもの、できなかったものそれぞれについて今後目標を達成すべく方策を検討してまいります。
5	先日福島県と福島労働局でまとめられた	5年の長期計画である福島県職業

	<p>「令和3年度地方職業能力開発計画（案）」を拝見しました。これを基に新プランを策定されることと推察いたしますが、引き続き会津地域に根付いた取組みを軸と据えたプランとしていただければと存じます。</p>	<p>能力開発計画と1年ごとの地方職業能力開発計画を踏まえ、更に産学官の関係機関との連携を密に図り、激変する社会情勢を見据えながら、会津地域に於いて求められる人材育成について検討してまいります。</p>
--	--	---

(2) 令和2年度の基本的施策実施状況について

No	意見等	回答
1	<p>令和2年度はコロナの影響もあり、在学生には大変厳しい状況でした。特に観光業は厳しかったと思います。観光会津ではありますが、募集に対する充足率も低いので今後の課題でしょう。</p>	<p>学卒訓練における入学充足率が大変厳しい状況が続いており、本校の喫緊の課題と認識しております。産業界のニーズに応える教育訓練を実施するとともに、本校で2年間学ぶメリットを訴えるとともにあらゆる手段を講じて募集活動を行ってまいります。</p>
	<p>喜多方市内にはものづくり企業が実施しており、また観光地でもあることから貴校は重要であります。しかしながら、学卒者訓練の入学率が50%を切っていることが懸念されるようです。</p>	
2	<p>令和2年度においてはコロナ禍という背景もあり、当センターも貴校同様、特に定員充足を中心とした実績確保に困難を極めたところです。当センターと致しましても、会津地域における職業能力開発施設としてその役割を果たすため最大限の取組みを行って参りますので、引き続き貴校との良好な連絡・連携をさせていただけますようよろしくお願いいたします。</p>	<p>会津地域での同様な職業能力開発施設として、役割分担しながら、今後も情報交換、連携について御協力をよろしくお願いいたします。</p>
3	<p>電気配管設備科に、電気通信等のスキルも入れた方が良くと思います。</p>	<p>いただいた御意見を踏まえ、今後のカリキュラムに反映させていきたいと考えております。</p>
4	<p>新聞等の報道で、御校の実施状況を見かけることがある。数値目標として、10項目中5項目が目標値に達している。学卒者の目標が目標値に達していないのが気になるが、今後期待する。</p>	<p>本校の取り組みについて気にかけていただきありがとうございます。目標を達成できたもの、できなかったものそれぞれについて今後目標を達成すべく方策を検討してまいります</p>
5	<p>離職者等再就職訓練事業及び在職者訓練の受講者数が計画の半数程実績が出ましたのは良かったと考えます。</p>	<p>離職者等訓練、在職者訓練共に年度当初の緊急事態宣言によるコースの中止、期間の変更等を行いました。コロナ禍で離職者が多かったのですが、就職活動を優先する方、集</p>

		合訓練参加への不安をお持ちの方がおり、離職者等訓練では定員充足まで至らなかったコースがありました。在職者訓練でもコロナ禍の影響により受講を控える傾向がありました。引き続き感染防止対策を徹底しながら受講ニーズに応えられるコースを設定してまいります。
6	在籍者訓練（テクノセミナー）について計画数（コース）のうち、実施数（コース）が約半分となっており、実施内容や募集の周知方法など改善策が必要ではないか。	資料表中の中止コースは、年度当初の緊急事態宣言を受け中止としたもの、資格試験中止に伴い関係コースを中止としたものです。オーダーメイドでは各企業から直接要望があり、コロナ禍に対応した手法を取り入れたコースを設定し4コースを実施しました。在職者訓練の周知については年度当初に市町村や企業団体を通じてパンフレットを配布しました。また、会津・南会津地域15市町村の広報誌へ掲載依頼し周知を図っております。今後も産業ニーズに応じたコース設定、周知の方法について過去に参加のあった企業を中心に周知を図ってまいります。

(3) 重点事業の取組みについて

No	意見等	回答
1	重点事業か否か分かりませんが、AI・IoTを使ったカリキュラムは今後もニーズが高まると思いますので、設備も含め強化して欲しいと思います。	テクノアカデミーでは、原発事故からの復興や風評被害の払しょくを目指すと同時に、新技術への対応やコロナ禍における目まぐるしい経済情勢の変化に対応できる知識や技術の習得及び向上を目的に、地域産業の発展に貢献し生産性向上に資する人材の育成に向け、最新の技術や機器を導入し、カリキュラムに取り入れながら教育訓練内容の拡充を図っております。
2	観光分野においてはコロナ禍の中積極的な営業活動もできないのが現状である。そのような中、今後のインバウンド誘客も見据えた情報発信はSNSによるものが大きなウエイトを占めるものとなる。これらは既に取り組んでいるのだが、行政機関や観光協会と連携してより実務的（実際に情報発信し・その成果も検証）な訓練を通した手法の習得が求められると思う。	本校においても、再生可能エネルギー関連産業人材育成事業として太陽光発電や小水力発電の機器、3DCADや3Dプリンタを導入しまし
3	AI・IoT活用及びイノベ人材等ともに、コロナ禍や脱炭素社会など今の時代にさらに求	

	められる育成事業であるので、今後の取組にも期待する。	た。また、サービス分野 AI・IoT 技術アドミニストレーター育成事業として Iot 活用実習システムを導入しております。また、次年度には観光プロデュース学科でふくしま観光復興人材育成事業として仮想現実いわゆる VR 機器の導入、電気配管設備科でイノベ人材育成事業の計画があります。このような取り組みにより、企業ニーズに対応するとともに、学生の関連分野への意識向上、職業選択における幅の拡大、他施設との差別化、また、学生募集の PR にもなると考えております。今後も産業界の動向を注視し教育訓練内容の充実に努めてまいります。
4	今話題の AI・IoT 活用事業など先進分野に取り組んでおり、継続して実施することが望ましいと考えます。	
5	ドローンや3DCAD などこれから必要とされる技術を習得でき、素晴らしいと思います。	

#### (4) 学生募集について

No	意見等	回答
1	企業ニーズの高い、自動車整備科、電気配管設備科は県内就職率も高いので、今後も積極的にアピールしていく必要があります。	現在までの取り組み（在校生への満足度の向上、保護者への PR、高等学校訪問、高等学校で実施するガイダンスへの出席、高等学校の先生を対象とした本校説明会の実施、PTA や生徒の施設見学の受け入れ、学校への出前授業、オープンキャンパスの実施、ハローワークへの募集協力依頼、ハローワーク職員を対象とした本校説明会の実施、業界団体や企業への募集協力依頼、若者を対象とした説明会の実施、ものづくり教室での PR、市町村広報誌への募集記事掲載依頼、地域誌への募集記事掲載依頼、公共施設や商業施設でのパンフレット・ポスターの設置、報道機関への情報提供、県の広報枠を利用した PR、在校生の母校訪問、地域との連携事業の実施、本校ホームページでの情報発信、フェイスブックでの情報発信、地域イベントへの参加等）に加え、本年2月には公式ツイッターを開設し、また、
2	入学者数を増やすのは、大変厳しいと思われますが、ホームページの充実、SNS の活用等で地道な情報発信を引き続き行っていくことが必要だと思います。	
3	在籍率が3割に満たない学科もあるため、情報発信等に工夫が必要ではないか。	
4	もう少し入学者が多くなればと思います。	
5	管内の高校と懇談会とか説明会は開催しているのでしょうか。テクノアカデミーをもっと知ってもらうことが大切かと思ひます。	
6	周知については、依頼により、市の広報に掲載したり、チラシを設置したりしており、今後も協力したいと思っております。貴校は、知識・技術はもちろんのこと資格取得にも力を入れておられることから、今後資格の取得に関して周知を図ってはいかがでしょうか。	
7	当センターにおいても定員充足には苦慮しているため、会津地域における当センターの認知度向上などのため基本的な広報等の方策	

	<p>について、その見直しに着手したところで、こうした面におきましても貴校の取組等を参考にさせていただきたいと存じますので、引き続きよろしく願いいたします。</p>	<p>3月中に本校ホームページのリニューアルを実施予定です。今後も各機関と連携を深めながら分かりやすいPRに努め、あらゆる手段を講じて募集活動を行ってまいりますので応募者の増加に向けて引き続き御支援、御協力をお願いいたします。また、効果的な募集方法がありましたら御教示をお願いいたします。</p>
8	<p>本校からの受験の場合、自動車整備科への入学が今後も予想される。今年度のように企業に在籍しながら受け入れる制度は、企業側としても研修・技術習得に繋がるので、今後も受験者が増えると思われる。</p>	<p>学卒訓練における企業在職者の受け入れについては、次年度も継続します。応募者の増加に向けて引き続き御支援、御協力をお願いいたします。</p>

(5) その他

No	意見等	回答
1	<p>自動車業界として、電気自動車及び自動運転装置に関するセンサー等の点検整備が10年スパンで具体化されるに伴い、その対応に追われると思います。またその対応としての設備、故障診断材の購入の資金、講習会による資格、技術力の向上等、様々な問題が生じてくると思います。業界としてそれらの問題を解決、対処していくためあらゆる情報を集めているところです。</p>	<p>本校でも職員の研修や各講師からの情報提供などにより、最新の技術情報の収集を行うとともに、それらの技術に対応できる人材育成を図るべく機器整備をしながら教育訓練内容及び環境の整備を図ってまいります。</p>